

国宝「六面石幢」修理、移設事業について

事業者 宗教法人玄武山普濟寺

- 事業内容**
- ・普濟寺所有の国宝「六面石幢」を解体後、京都の工房に運搬して保存修理を行う。修理後、新保存庫内に再設置する受台装置等を設けて安置する。〔保存修理事業〕
 - ・普濟寺敷地内に新保存庫を建設し、保存修理事業後に展示整備する。〔防災移設事業〕
 - ・国及び都の補助事業として行い、市も補助金を交付する。

令和5年度の事業

- 保存修理事業
- ・保存修理作業（表面付着物の除去、材質強化）
 - ・再設置の検討作業（試用複製品の作成、受台装置の製作、組み上げ方法の検討、受台装置の調整作業）
- 令和5年4月から令和6年3月まで、修理工房において作業及び検討



修理状況の検品



複製品による検討作業



受台装置の製作調整

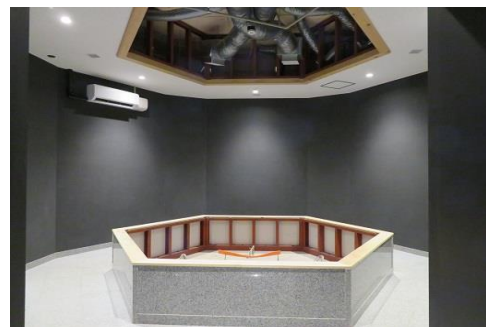


組み上げ検討

- 防災移設事業
- ・寺院自主事業による令和4年12月完成の新保存庫内の環境整備
(令和5年1月から室内温湿度の環境モニタリングを開始、空気汚染調査を実施)



左) 新保存庫 右) 寺院収蔵施設



新保存庫 室内の施工状況

- 補助金
- 国：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
都：東京都文化財保存事業費補助金 市：立川市文化財保護事業費補助金

令和6年度（最終年度）の事業

- 保存修理事業 令和6年4月から令和7年3月まで
保存修理箇所の最終点検、受台装置（保存台、支持体）の調整、新保存庫への搬入、新保存庫内での再設置工事の設計施工
- 防災移設事業 寺院自主事業により、再設置工事後の展示ガラスの設置等、展示工事の施工